

さとう ゆみ

きらめく未来づくり通信

2014年11月11日 No. 14

〒480-1157長久手市桜作708
TEL&FAX/0561-76-7811
携帯/090-5863-9971
E-mail/info@satoyumi.net



ブログ「さとうゆみのきらめく未来づくり日記」
議員としての活動、市議会の実情、
市の最新情報を積極的に発信しています！

平成25年度の市の決算を審議

平成25年度の一般会計決算は、歳入総額196億4,856万円(対前年度比23.7%増)歳出総額186億7,241万円(対前年度比22.5%増)でした。前年度に比べて大幅に増加しているのは、基金の組替え(※)により歳入歳出ともに27億1,917万円増加したため、基金の組替え分を除くと前年度から約5%の増加です。

歳入の49.6%を占める市税は97億4,335万円で、前年度から3.4%増加しています。9月議会では、予算が効率的に執行されたか、市民生活への効果はどのようであったか、平成25年度の決算を審議しました。

※基金の組替え…「庁舎建設基金」「文化の家施設管理基金」「史跡保存整備基金」など目的別に積み立てられていた7つの基金を廃止し、既存の「財政調整基金」と新設の「公共施設等整備基金」「公共施設等管理基金」に組み替えられたもの。

さとうゆみが着目した平成25年度の事業！

西小校区地域共生ステーション
整備費 3,990万円
管理費 597万円(11月開所～3月分)

当初、共生ステーションは1カ所約1,000万円の整備費の予定でしたが、大幅に増額されました。費用をかけて整備したからには、市民に活用される施設にしていきたいです。

老朽化した小中学校トイレ改修工事 2億4,744万円

さとうゆみが一般質問で取り組んだ老朽化した学校トイレの大規模改修が実現しました。長小、西小、東小、長中で実施され、現在北小、南小、南中でも進められています。

市が洞小学校増築工事 6億6,030万円

最大39クラスまで受け入れられる校舎が増築されました。平成31年には児童数が約1,250人と多くなる見込みで、現場の教育環境をよく確認していきます。

リコモ支援 2億8,100万円

利用者数は前年度比3.9%増ですが、1日あたりの利用者数は2万人を下回っており、当初見込みの3万1,000人には程遠いです。来年度も多額の現金による支援を求められそうです。

小規模特養整備補助金 1億3,340万円

平成24年～26年の「介護保険事業計画」に基づき、公募で選ばれた事業者への建物および建物内備品の補助金。新たに岩作立花に定員29名の特別養護老人ホームができました。

コミュニティ活動事業費補助金 702万円

5つの自治会連合会と4つの区(岩作、大草、前熊、北熊)に合計702万円を渡し、使い道は各組織で決める事業。地域活動に使われていますが、お神楽の衣装購入といったものまで…

保育園緑化事業 128万円

保育園緑化事業100万円の予算は、7メートルのケヤキ3本を植えることに使われました。特に長湫東保育園では、園庭の真ん中近くに植えられており、妥当な位置だったでしょうか…?

ながくての幸せのモノサシづくり

幸福度指標調査委託 236万円

幸せのモノサシづくりアドバイザー報酬金 50万円

平成25年度は286万円を支出、今年度も約250万円の予算をつけて進められていますが、モノサシづくりが市民にどのよう
に有益であるのか説明が必要です。

平成25年度の決算カードから見る長久手市の財政状況

さとうゆみは、政党に属さず生活者の立場で活動する近隣市の議員とともに毎年予算・決算の勉強会を続けています。各議員が持参した「平成25年度の決算カード」から抜粋し、各市の「市税の前年度決算からの増減」及び「各市の地方債現在高、債務負担行為額、積立金現在高」の比較表作成しました。

決算カードは、総務省が実施している決算統計の集計結果に基づいて、市町村ごとに「普通会計」の決算状況を1枚のカードにまとめたものです。長久手市の「普通会計」は、「一般会計」「土地取得特別会計」「卯塚墓園事業特別会計」で構成されています。

市税の前年度決算からの増減(単位: %)

	長久手市	日進市	瀬戸市	みよし市	大府市	津島市	常滑市
個人市民税	3.7	2.4	0.7	3.1	5.2	3	1.2
法人市民税	6.3	-0.5	-2	16.6	-6.1	12.3	-7.4
固定資産税	1.9	0.8	0.2	-0.1	0.4	-4.7	0
軽自動車税	5.5	4.2	1.2	5.6	4.7	2	2.1
市町村たばこ税	16.7	8.3	24.1	10.9	9.2	0	17
鉱山税			-12.3				
入湯税	0.2	5.4			-2.7		
都市計画税	1.8	1.5	0.8	1.7	1	-3.6	2.6
合計	3.4	1.7	1.2	2.7	2	-0.3	0.8

長久手市は、市税のすべての項目で前年度から増加しています。3.4%の増加は、他市と比較しても伸びが大きいことがわかります。

地方債現在高・債務負担行為額・積立金現在

	長久手市	日進市	瀬戸市	みよし市	大府市	津島市	常滑市
人口	52,799人	85,926人	131,698人	59,578人	88,550人	64,920人	57,426人
地方債現在高	79億4641万	149億5438万	236億3522万	110億8131万	99億6733万	155億3460万	235億6991万
債務負担行為額	6億516万	15億8538万	18億4510万	21億8717万	64億8961万	16億8187万	132億7987万
積立金現在高	44億8840万	23億4509万	42億7407万	121億5207万	73億8243万	18億562万	22億7833万

地方債現在高、債務負担行為額は少ない傾向です。
・地方債…市の借金
・債務負担行為額…将来支払いをする約束をしている金額
・積立金…市が積み立てている貯金

※普通会計のみ記載しているため下水道会計などの地方債は含まれません。

紆余曲折を経て 「長久手市非核平和都市宣言」可決

昨年12月議会に市長提案で出された議案「長久手市非核平和都市宣言」は、「長久手市民は、戦争の悲劇を後世に伝えるため、古戦場を歴史的文化遺産として大切にしてきました」の部分に議会で異論が続出し、市は文面を修正するとして議案を撤回しました。

市は文面を練り直し、パブリックコメント(市民からの意見募集)を実施した上で、9月議会に出し直しました。議会での採決の結果、賛成全員にて可決しました。

今後長久手市は、市長が平和首長会議へ出席、原爆パネルの展示、小中学校にて戦争体験者から話を聴く会の開催、被爆した樹木の種から育てた苗木を全小中学校に植えることなどを実施するそうです。長久手市としての平和を守る取り組みに私は期待しています。

長久手市非核平和都市宣言

恒久平和は、人類の願いです。

しかし、世界各地では、今なお武力紛争が絶えず、さらに非人道的な兵器である核兵器の存在により、人類がその脅威にさらされています。

また、核兵器は、紛争地域だけにとどまらず、人類の発展と地球環境に甚大な被害をもたらすこととなります。

私たちは、世界で唯一の戦争被爆国の国民として、この地球上から核兵器を根絶しなければなりません。

長久手市は、平和の願いを新たにするとともに、非核平和を目指す自治体と手をつなぎ、平和活動に尽力することを決意し、ここに「非核平和都市」であることを宣言します。

議案「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定」には反対議員が7人も！

新たな市条例の制定となる「家庭的保育者事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定」の議案が市長提案で出されました。来年4月の「子ども・子育て支援新制度」の本格的スタートに向けて、国の定める基準を踏まえて各市町村の条例とに定める必要があるためです。

すでに長久手市では、3歳未満児を保育する家庭的保育事業を行っており、家庭的保育者は保育士資格がある人と限定しています。今回長久手市が提案した議案は、「市長の研修を受ければ保育士資格がなくても家庭的保育者になることができる」としています。

国の基準を踏まえて各市町村で制定するのですから、資格保有者に限るとしているまちなもあります。その他、保育を行う面積、食事の提供なども含まれていることから、十分な検討が必要でしたが、市の附属機関「長久手市子ども子育て会議」にもかけていません。保育の質を担保していこうという市の努力が感じられなかったため、この議案には反対をしました。採決の結果、反対の議員が7人もいましたが、賛成多数により可決されました。

待機児童解消なるか？

市は、従来からある公立保育園6園に加え、昨年度新たに1園を、今年度3園を市の認可保育園としました。しかし、先月時点で3歳未満児約40人の待機児童が出ています。

来年度市は、新たに3歳未満児を(仮称)コロポックル長久手保育園(長久手市坊の後)にて36人、愛知淑徳大学の事業所内保育所にて5人を受け入れるとしています。待機児童解消に向けての市の積極的な取り組みにより、待機児童は解消できるでしょうか。

長久手市議会から国へ提出 「寡婦(夫)控除をすべてのひとり親家庭まで拡大することを求める意見書」

教育福祉委員会提案で「寡婦(夫)控除をすべてのひとり親家庭まで拡大することを求める意見書案」が出されました。賛成全員にて可決し、意見書を内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、衆議院議長、参議院議長へ提出しました。

現在、配偶者と死別または離婚した後、再度婚姻せず子どもを養育しているひとり親家庭に対して一定の所得控除を適用する税制優遇制度(寡婦・寡夫控除)があるのに対し、未婚のまま子どもを養育するひとり親家庭には当該制度が適用されず、婚姻歴のあるひとり親家庭と比較して不利益を受けています。

寡婦控除は、戦争で夫を亡くした扶養家族を抱える女性を対象に創設され、のちに離婚をした母子家庭、父子家庭も対象となりました。今日に至るまで、未婚のまま子どもを養育するひとり親家庭は対象に加えられていないため、国は早期に法改正すべきだと考えます。

具体的にどれくらい差があるのか？

・所得税、市民税…給与収入200万円として算定すると、結婚歴のある人は所得税1万4,800円、市県民税非課税に対して、結婚歴のない人は所得税3万2,600円、市県民税7万2,000円。

・保育料…年収200万円、2歳児が1人入所している場合の概算として、婚姻歴のある人は前年度の市町村民税が非課税の場合は0円(課税の場合は7,000円)、婚姻歴のない人は月額1万6,000円。

・公営住宅の入居資格や家賃にも違いがあります。

さとうゆみ議会報告会

2014年12月6日(土)

2015年1月17日(土)

2015年2月7日(土)

午後2時から午後4時まで

交流プラザ1階中会議室1

お気軽にご参加ください。

さとうゆみプロフィール

1978年名古屋市長久手区生まれ(36才)

私は、藤が丘馬場から徒歩10分の場所にて生まれ育ち、長久手の発展をそばで見してきました。2002年結婚を機に長久手へ移住しました。「子育てをめぐる環境を考える会」を立ち上げ活動。活動を通して行政に声が届かない糸巻馬場をした私は議員になりたいと決意したのです。2011年33才にて長久手市議会議員に初当選。

次号は11月25日(火)発行予定です。

この通信の発行には一部政務活動費を使用しています。(長久手市議会議員の政務活動費は月1万円)